

国語科学習指導案

- 1 対象 第1学年4組
- 2 日時 2023年6月15日
- 3 場所 1年4組HR教室(B404)
- 4 単元名 「ネットが崩す公私の境」『精選 現代の国語』(三省堂)
- 5 単元の目標
 - ・評論文特有の語句の意味や表現を理解し、語彙を豊かにする。(知識及び技能)
 - ・現代社会と自己の関わりについて考え、自分の意見を論理的に文章にまとめることができる。(B 書くこと)
 - ・筆者の問題意識を正しく把握し、論理の展開を正確に理解することができる。(C 読むこと)
 - ・筆者が読み解いた高度情報社会の新しい現実を理解しつつ、情報化社会に対する自覚的な態度を養う。(学びに向かう人間性)

6 単元について

(1) 教材観

情報社会を生きる我々にとって、パソコンは必要不可欠な道具であり、インターネットの普及もめざましい。おかげで我々は大量の情報を短時間で処理し、必要な情報を瞬時に検索できるという便利さの中で生活しているが、その一方でインターネットを悪用した犯罪が年々増えていることも事実であり、多くの子どもたちがその被害者にあっている。現代の子どもたちはパソコンが身近にある環境の中育ち、様々な形で利用していると思われるが、その利便性にばかり目が向き、その奥に隠された負の面には気付かないままに人を傷つけたり、自らが傷ついたりしている可能性はある。インターネットがそのような危険な道具に成り得ることを知り、これからの利用の仕方を考える意味でもこの単元は意義あるものと考えられる。

(2) 生徒観

始業のチャイムが鳴る前には席に着き、授業の用意をするなど、非常に意欲的なクラスである。また、ペアワークでは活発に意見交換をするなど、自分の意見を他者に伝え、他者の意見を傾聴することのできるクラスである。しかし、まだ高校に入学して間もないため小説

に比べ評論の読解を苦手としている。その原因としては、評論文を読み慣れていないこと、内容が抽象的なものが多く興味関心が向かないこと、難解と感じるものが多いことが考えられる。今回の単元を通して、情報社会を生きる生徒たちにとって身近な問題であることを理解させ、考える力を養いたい。

(3) 指導観

堅い文章に対する抵抗感を少しでも取り除き、生徒が評論文も面白いと思うようになる手立てが必要である。そのために、まず、生徒にインターネットの利点・欠点を考えさせる時間を設け、導入の話題として使うことで、生徒に身近な問題について論じている評論であることを知らせ、関心を持たせる。

授業の展開においては、現代文はいかに生徒に考えさせるかが重要になるので、発問の仕方を中心に据えた授業展開をする。段階を追った発問や本文の抜き出し、要約、説明などを内容に応じて使い分ける。また、語句の意味の確認においてはワークシートを事前に配布して予習して臨むようにさせ、本文の読解の中でも難しい語はできるだけわかりやすい表現に置き換えて理解させることを心掛ける。

最後に作者の主張を理解させた上で、生徒自身が考えたことをまとめさせることで、自己と社会の関係について思いを至らせる。

(4) 単元の計画 (全5時間)

- 1 導入・第1段落(初め～p54・9)の読解
- 2 第2段落(p55・1～p56・2)の読解
- 3 第3段落(p56・3～p57・2)の読解
- 4 第4段落(p57・3～終わり)の読解
- 5 発展(『ネットが崩す公私の境』を読んで、「インターネットの普及によって起こる問題点」について考えを書き共有する。

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価基準
一 導 入	1	1 導入・第1段落のニーチェの精神の腐敗の意味を読み取る。 ・スマートフォンやインターネットの利用の実態について確認する。	インターネットの利点・欠点について考え、グループで意見交流し、単元への関心を高めた上で本文の読みに入らせる。	・インターネットについて自分の意見を書くことができる。(B) ・相手に意見を伝えることができる。(A) ・他人と比較し、考えを深め合うこと

		<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・第1段落のニーチェの予言を確認する。 	<p>形式段落に分けて指名して読ませる。</p> <p>活字書物文化がどのような構造であるか理解させる。 ニーチェが考えた予言について理解させる。</p>	<p>ができる。(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく文章を読むことができている(C) ・「ニーチェにとって『読者』とはどういうものか。」を的確にワークシートにまとめている。(B)
二 本 文 読 解	1	<p>2 第2段落において「著者」のあり方の変容についての過程を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活版印刷術の成立以降、「著者」はどのような存在であったか、まとめる。 ・インターネットによって、著者と読者の関係はどのように変化したか、まとめる。 	<p>ワークシートにまとめさせる発問をすることで、書くことに慣れさせる。</p> <p>書物が多くの読者を啓蒙するものであることを確認させる。</p> <p>誰でも〈著者〉になり情報を発信できる事態になったことを認識させ、それが権威の崩壊につながることを確認させる。 図を書かせ、より具体的に理解できるようにさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「著者という権威」が成立し、どのような状況で崩壊しつつあるか」を的確にワークシートにまとめている。(B)
	1	<p>3 第3段落において、インターネットというメディアの特徴について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のメディアの構造について考える。 	<p>従来のメディアは、情報を発信するまでに多くの過程を経ることを確認させる。</p> <p>書物の山の中から情報を探すことの困難さと、読</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のメディアとインターネットの対比に着目してまとめている。(1)オ ・論の展開を捉え、

		<p>・インターネットによって、情報の量及び内容や質はどのように変化したか、まとめる。</p>	<p>まれな情報が多くあることを確認させる。</p> <p>インターネットで情報を発信するには、何のチェックも障害もなく、情報の総量を制限し、情報の質や内容を淘汰する力がないことを確認させる。</p>	<p>筆者の主張を把握している。</p> <p>(Cア)</p>
1	4	<p>第4段落において、〈自我境界〉の曖昧化と新たな腐敗について読み取る。</p> <p>・インターネットによって、自分と世界はどのように変化したか、まとめる。</p> <p>・インターネットが発揮する強大な力について考える。</p> <p>・「著者」のあり方がどのように変わったのかまとめる。</p>	<p>考えを文章にまとめ書物として発表する従来のあり方とインターネットを使った発表のあり方を比較させる。</p> <p>インターネットの力が個人やコミュニティーや企業を崩壊させかねないことを理解させる。</p> <p>時代とともに変化していることを理解させる。</p>	<p>・従来のメディアとインターネットの対比に着目してまとめている。</p> <p>(1) オ</p> <p>・論の展開を捉え、筆者の主張を把握している。(Cア)</p>
三 発 展	1 本 時	<p>5 『ネットが崩す公私の境』を読んで「インターネットの普及によって起こる問題点」について、グループで意見交流を行い、全体に発表し共有する。</p> <p>・インターネットなど電子</p>	<p>インターネットの欠点を思い出させることで、自分ならどうするかを考え自らの日常生活をもとに考えさせる。</p> <p>日頃の体験やニュースなどの情報をもとに考えさせる。</p>	<p>・論理的で独自性のある文を書くことができている。</p> <p>(B)</p> <p>・相手に意見を伝えることができる。(A)</p>

	<p>メディアの普及によって起こる問題とは何か考える。</p> <p>・自身のネットとの付き合い方を見直し、ネット社会と向き合い方について考える。</p>		<p>・他人と比較し、考えを深め合うことができる。(A)</p>
--	---	--	----------------------------------

7 単元の評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等			学びに向かう人間性
	A 聞くこと・話すこと	B 書くこと	C 読むこと	
<p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語句を豊かにしている。(1)エ</p> <p>・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ</p>	<p>・情報メディアのあり方について、他者と交流し、他者の意見を聞くようとしている。</p> <p>・グループワークで自分の意見を伝えようとしている。</p> <p>・他者と比較し、考えを深めようとしている。</p>	<p>・現代社会と自己との関わり方について考え、自分の意見を論理的に文章にまとめようとしている。</p>	<p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(1)ア</p> <p>・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。(1)イ</p>	<p>・本文を読んで、自分自身のメディア社会とのあり方を見つめ直そうとしている。</p>

8 本時案 (第5時)

(1) 本時の目標

インターネットの普及によって起こる問題点についてグループで協議した後、クラス全体で意見交流を行い、ネットワークの公共性を維持するための自己のあり方について考えを深める。

(2) 本時の評価基準

- ・相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。
- ・目的や場に応じた話し方や言葉遣いを理解している。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価基準
導入	・筆者が疑問文で話を終えていることを確認する。	なぜ筆者はあえて問題提起をして終わっているのか理解させる。	
展開	<p>・本文の冒頭でのニーチェの予言において「腐敗」させたことについて振り返る。</p> <p>・現代はニーチェの予言通りになっているのかを考える。</p> <p>・「誰もが公表できる事態はいつか今度は何を腐敗させてしまうことになるのだろうか。」ということについて、インターネットなどの電子メディアの普及によって起こる問題点を考える。</p>	<p>ニーチェの予言から「腐敗」させたことを括弧の中から抜き出すようにさせる。</p> <p>まずはなっているか否かを考えさせ、なぜそう思ったのか根拠を示すように促す。</p> <p>「インターネットの普及によって起こる問題点」を基にグループで協議をすることと、筆者の考えを押し返して自分の意見</p>	<p>・筆者の主張を把握している (Cア)</p> <p>・論理的で独自性のある文を書くことができています。(B)</p> <p>・相手の話の内容についての評価を通して得た優れた洞察や思考などを自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや</p>

	<p>・インターネットの普及によって起こる問題点について自分の考えをグループで発表し協議する。</p> <p>・インターネットの普及によって起こる問題点について、各グループで協議した内容をクラスで交流する。</p> <p>・グループでの協議やクラスでの意見交流を通して普段の自分の行動を振り返り、日常生活にどう繋げるかについて自分の考えをまとめる。</p>	<p>を発表しあうことを確認する。</p> <p>筆者の考えを押さえているかを確認するように指導する。その後、自分の意見をしっかり発表するように指導する。</p> <p>グループで協議した内容を各グループ 2 分で発表する。</p> <p>メモをとりながら意見を聞くことを指導する。</p> <p>グループでの協議やクラスでの意見交流を通して自分の行動を振り返らせる。</p>	<p>考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。</p> <p>・目的や場に応じた話し方や言葉遣いを理解している。</p> <p>相手に意見を伝えることができる。(A)</p>
ま と め	<p>・次回から漢文に入ることを予告し、言語文化の教科書を持参するように指示する。</p>		

9 板書計画

タブレットを使用し、パワーポイントを板書とする。

10 ワークシート

「ネットが崩す公私の境」

○ニーチェの予言から「腐敗」させたことを3つ考えましょう

- 【精神】
- 【書くこと】
- 【考えること】

○現在ではニーチェの予言通りになっているのか考えましょう

なっている・なっていない

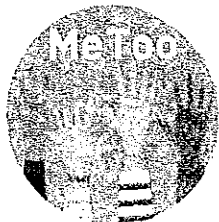
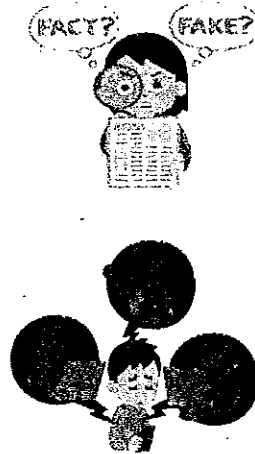
なぜそう思うのか…

従来のメディアとインターネットとの比較

情報発信者数	従来メディア	インターネット
情報量	少数	多数
情報を探す時間	限度がある	無限
情報を探す時間	時間がかかる	瞬時

○「誰もが公表できる事態は、いったい今度は何を腐敗させてしまうことになるのだろうか。」とあるが、インターネットなど電子メディアの普及によって起こる問題にはどのようなものがあるか考えましょう

※初回に行ったインターネットの利点と欠点において考えた内容と筆者が本文で述べていたインターネットの特徴を振り返った上で考える。



#MeToo運動





- ・ 信憑性のない情報
- ・ 情報漏えい
- ・ 著作権・プライバシーの侵害
- ・ 匿名性の悪用（なりすまし）
- ・ 依存症
- ・ 誹謗中傷
- ・ 発想を公表する上で思考的吟味や思考的向上心の腐敗
- ・ 生活習慣の悪化

(例)

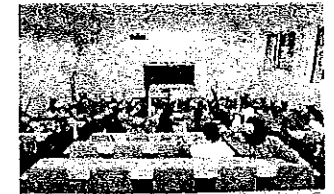
Chat GPT…Generative
Pre-trained Transformer
(対話型である事前学習済みの
文章生成変換器)



人工知能(AI)のチャットボット

「日本の大学生の9割は、文筆力でChatGPT
にかなわない」大学で教えるコラムニストが
抱える憂い

43 PRESIDENT Online

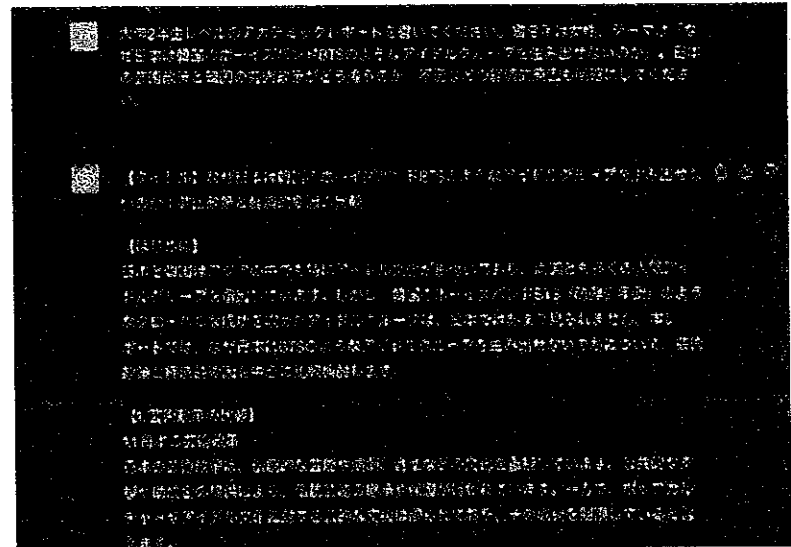


ChatGPTのようなAIに代替され淘汰されるのは誰なのだろうか。コラムニストで、都内の大学でライティングを教えている河崎麻さんは「ChatGPTに、試しに大学の授業の課題を委かせてみたら、うっかり『良』をあげてしまいかねないレベルの文章を書いてきた。人間でもこのレベルの文章しか書けない層は、当然淘汰されてしまうだろう」という――。

○インターネットとの向き合
い方について考えよう

※インターネットの問題点
を踏まえてインターネット
を使用する上で気をつける
べき点について考える。

情報を誰でもが発信すること
ができるようにはなったが、
その反面インターネットにお
ける問題が様々な場面におい
て起きているのが現状である。



○グループで共有しよう

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for students to share their thoughts or findings in a group setting.

○インターネットとの向き合い方について考えよう

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for students to reflect on their relationship with the internet.

○この単元についての感想